

氏名	大日方 修
学位(専攻分野)	博士(医学)
学位授与番号	博乙第 2622 号
学位授与の日付	平成 5 年 9 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	小児期における遅発性てんかんの臨床的脳波学的研究
論文審査委員	教授 庄盛 敏廉 教授 森 昭胤 教授 清野 佳紀

### 学位論文内容の要旨

小児てんかんのうち10歳以後に発症するてんかん(遅発群)の特徴を明らかにするために、遅発群109例と、10歳未満発症の対照群207例について比較検討を行い、以下の結果を得た。

- 1) 局在関連性てんかんは71.5%、全般てんかんは28.5%にみられ、局在関連性てんかんでは特発性、症候性ともにみられるが、全般てんかんでは特発性が多く、症候性は稀である。
- 2) てんかん波は焦点性皮質性発射が50.4%にみられ、その焦点部位は前頭部、側頭部に多く、中心・頭頂部にはむしろ少ない。
- 3) 推定原因として、素因性および原因不明が多くみられ、両者が68.7%を占めていた。
- 4) 治療予後では、予後良好例が多い(75.9%)が、一方、難治例(11.5%)は乳児期に次いで比較的高率であった。
- 5) 成人てんかんとは臨床的脳波学的に共通する点が多くみられた。
- 6) 遅発群の予後を初診時に予測するチェックポイントを提示した。

### 論文審査の結果の要旨

本研究は10歳以後に発症する遅発性てんかんについて臨床的および脳波学的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった特徴を明らかにし、とくに予後を予測する判定基準について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。